

新型コロナウイルス感染症 業務継続計画（BCP）

事業所名：株式会社WAY to DAY / 放課後等デイサービス・児童発達支援 Athletic

作成日：令和7年3月

統括責任者：吉岡 孝

◎ 基本方針（3つの柱）

👤 利用者の安全確保

感染拡大を防止し、利用者の
生命と健康を守る

🔄 サービスの継続

必要な支援を途切れさせ
ず、継続的に提供する

👤 職員の安全確保

職員の感染リスクを低減
し、勤務環境を守る

📞 緊急連絡体制

対策本部長：吉岡 孝

代行者：盛田 由貴

👥 役割分担

- 全体統括
- 連絡調整
- 情報提供
- 感染防止統括

📄 報告先リスト

- 保健所（感染症発生の届出・指示）

- 指定権者（北九州市障害福祉課等への報告）
- 医療機関（協力医療機関への相談）
- 利用者家族（状況説明・利用調整）

⚠ 感染疑い発生時の初動対応フロー

🔔 STEP 1: 第一報（即時）

- 管理者へ直ちに報告する
- 保健所・医療機関へ連絡し指示を仰ぐ
- 指定権者・相談支援事業所へ第一報を入れる
- 利用者家族へ連絡を行う



👤 STEP 2: 感染疑い者への対応

- 該当サービスの利用・出勤を休止する（基本5日間）
- 医療機関への受診を勧奨する
- 自宅待機を指示し、経過観察を行う



🧼 STEP 3: 消毒・清掃

- 感染疑い者が滞在した場所を特定する
- 当日中に消毒を実施する（アルコール・次亜塩素酸ナトリウム）
- 手すり、ドアノブ、おもちゃ等の接触箇所を重点的に行う

📌 平時からの備え（チェックリスト）

体制整備・情報共有

- 責任者・代行者の選定は済んでいるか
- 役割分担は明確化されているか
- 緊急連絡網は最新の状態か
- 報告ルールは全職員に周知されているか

感染防止策

- マスク着用の徹底
- 定期的換気の実施（1時間に2回、数分間）
- 検温・体調チェック表の毎日の運用
- ハイリスク職員（基礎疾患等）の把握

備蓄品の確保

- マスク（サージカルマスク等）
- 消毒液（アルコール・次亜塩素酸Na）
- 使い捨て手袋（グローブ）
- フェイスシールド・ガウン（必要時）
- 非接触型体温計

※アスクル等の優先供給スキームを活用

職員・訓練

- 職員不足時の勤務調整・シフト案作成
- BCP研修の実施（年1回以上）
- 机上シミュレーション訓練の実施
- 訓練後の課題抽出とマニュアル見直し

📌 休業の検討基準

🔍 検討項目

- 自治体・保健所との協議結果
- 職員の確保状況（出勤可能率）
- 事業所内での感染拡大状況

🏠 代替サービス

- オンラインによる支援
- 電話による状況確認・支援

📌 再開基準：国のガイドラインに準拠し、保健所の指示に従って決定する。



感染拡大防止体制

保健所・行政連携

- 濃厚接触者の特定への協力
- 保健所からの感染対策指示の遵守
- 自治体・指定権者への状況報告

濃厚接触者・職員対応

- 利用者・職員への自宅待機指示
- 長時間労働の防止とメンタルケア
- 週休2日体制の維持努力

物資・情報共有

- 備蓄品の緊急調達（アスクル等）
- 利用者家族への迅速な連絡
- 関係業者（送迎、給食等）への通知

情報発信

- 代表取締役による一元的な対応
- マスコミ・地域への公表対応
- 風評被害防止への配慮

緊急連絡先一覧

連絡先区分	名称	電話番号	備考
保健所	北九州市保健所		感染症相談・指示
医療機関	くみこキッズクリニック		協力医療機関
指定権者	北九州市障害福祉課		報告義務あり
統括責任者	吉岡 孝（代表）		対策本部長

関連様式

- 様式1：体制整備（責任者・担当者）
- 様式2：報告先リスト・連絡網
- 様式3：体調管理チェック表
- 様式4：保健所連携指示事項
- 様式6：備蓄品管理表
- 様式7：職員確保・勤務調整表

BCP見直し・更新

- 年1回の定期見直しを実施する
- 訓練実施後に課題を反映し更新する
- 感染症流行時やガイドライン変更時に随時見直す